

競技注意事項

1. 競技規則について
本大会は2026年度日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合わせ事項に従って実施する。
2. 招集について
 - (1) 第一招集は、メインスタンドの軒下、競技役員室内にて行う。その際、係員の指示に従い、招集にて参加確認をし、配布する腰ナンバーカード1枚を受け取り招集完了とする。
 - (2) 現地招集時に競技使用シューズを確認することがある。
 - (3) 招集は、競技日程に記載の招集時刻で行うため、各自で確認すること。
 - (4) 腰ナンバーカードは競技終了後、必ず返却すること。
3. 欠場について
 - (1) エントリー期日後、事前に欠場することが判明している場合は、『棄権届フォーム』を提出すること。
※8-(2) 再度番組編成
 - (2) エントリー期日後、事前に欠場することが判明している場合は、大会受付の際にその旨を申し出ること。
4. 競技者の服装について
 - (1) 腰ナンバーカードは招集にて配布したものを右側に明瞭につけること。
 - (2) 本大会はTR5.2ルールを適用し、規格外のシューズ使用は全て禁止とする。
5. 競技について
 - (1) 全ての種目において制限時間を設ける。各レーススタート後、組において最も遅い目標記録の時間を経過時点で、残り1周に達しなかった場合、ならびに周回遅れになった競技者は、その週のフィニッシュラインで競技を中止させる。ただし、各1組は対象外とする。
 - (2) 計時については写真判定(0.01秒)とする。ただし、装置に故障等のトラブルが生じた場合、手動計時(0.1秒)とする。
 - (3) 5000m、10000mでは、第2コーナーから第4コーナーにおいて、給水担当者による給水を認める。希望する場合は、レース開始までに大会本部に申し出ること。なお、給水の際は周囲との接触に十分注意すること。
 - (4) 救急搬送防止および選手の安全確保のため、競技役員が競技者の体調を見て、医師または医務員と協議のうえレースを中止させる場合がある。その場合、必ず指示に従うこと。
 - (5) 3000m以上の競技においては、出走人数によって安全面を考慮し、2段階スタートとする場合がある。
6. 抗議の申し立てについて
 - (1) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、結果が関西学連公式X(旧Twitter)にて正式に発表されてから30分以内に、その競技者あるいはチームの監督が口頭で審判長に申し出なくてはならない。(TR8.2-3)
 - (2) 抗議受付は大会本部に設ける。必要用紙に記入し、行うこと。
7. 悪天候の際の対応
 - (1) 競技の実施が不可能になることが予想される場合には、主催者で方針を協議する。
 - (2) 中止となった種目のエントリー料の徴収は行わない。
8. その他
 - (1) 記録の正式発表は関西学連公式X及び関西学連HPへの掲載にて行う。
 - (2) 事前欠場者の人数により、再度番組編成をする場合がある。
 - (3) 競技場内へ立ち入る際、競技場保護のためヒール等の底の固い靴は一切禁止し、アップシューズもしくはスニーカーで入場すること。審判員や補助員も同様とする。
 - (4) 競技者は競技区域内にビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を持ち込めない。(TR6.3.2)
 - (5) 注意事項および競技者としてのマナーを逸脱した行為などが見受けられた場合、その競技者の所属する団体の以降の競技を中止させ処罰を与える。
 - (6) 大会期間中に疑問な点があれば、大会本部まで申し出ること。